

アート台北 2017

【会 期】 10月20日(金)～10月23日(月)
 VIP 10月19日(木)15:00～21:00
 10月20日(金)11:00～14:00
 【会 場】 台北ワールドトレードセンター
 エキシビション・ホール
 No.5, Hsin-Yi Rd., Sec 5, Taipei

<http://www.art-taipei.com>



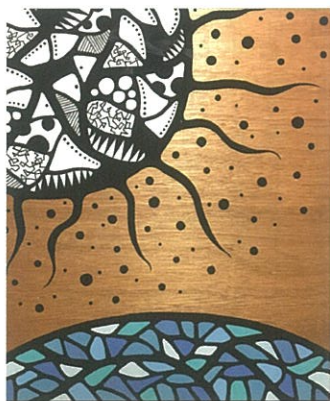
Chen Chieh-Jen
 『Military Court and Prison-Pushing People』
 2008年 Color photo 80×150 cm
 (Lin & Lin Gallery)



Chiehsheng KENG 『Between Drunken and Dreamy』
 2016年 Camphorwood 100×25×80cm
 (Da Xiang art space)

アート台北2017は、10月20日から23日まで台北ワールドトレードセンターで開催され、15ヶ国・地域から初出展の14軒を含む120軒のギャラリーが参加する。そのうち台湾が62軒、中国・香港が19軒、東南アジアが7軒、韓国が4軒。日本からは、Yoshiaki Inoue Gallery、ガレリア・グラフィカ、gallery COEXIST-TOKYO、GALLERY小暮、小林画廊、COMBINE/BAMI gallery、彩鳳堂画廊、SAKURADO FINE ARTS、思文閣、至峰堂画廊、秋華洞、新生堂、ギャラリーためなが、TARO GALLERY、ギャラリー椿、TEZUKA-YAMAGALLERY、日動画廊、NUKAGA GALLERY、ホワイトストーンギャラリー、みぞえ画廊、YOD Galleryの21軒が出展。アジアのアートシーンを中心に、人気の若手から20世紀の巨匠まで、約3,000点の作品を展示する。

フェアは4つのセクターに分けて行われる。メインセクターの「ギャラリー」は広い展示スペースでアーティストたちによる渾身の大作を



Ahhi Choi
 『Gravity』
 2016年
 Acrylic on Woodpanel
 72.7×60.6cm
 (TARO GALLERY)



釜匠
 『Bottle Zoo』
 2016年
 Acrylic on Canvas
 60.6×50.0cm
 (COMBINE/BAMI gallery)

展示。「フロンティア」セクターではデジタル技術を活かしたニューメディアを集め、「フューチャー」と台湾文化部が主催する「Made in Taiwan」新人推薦特区」セクターは若手新鋭アーティストに焦点をあてる。「パブリック」セクターは、オーストラリアのキュレーター、アニー・イワノワ (Annie Ivanova) がキュレーションし、大型のパブリックアートを紹介する。

「私立美術館の台頭」をテーマにした「芸術講座」は、各国の著名なプライベートコレクションを運営する芸術機構と、個人コレクションがパブリック展示に変身する傾向について、企画展示、トークなどを行う予定。